

輝くまちの 未来へ向かって

平成28年 年頭のごあいさつ

吉岡町長 石 関 昭

飛躍が期待されます。
現在、町では継続して八幡山グラウンド拡張事業、防衛省補助事業として南下城山防

を間近に控え、駒寄スマートインターの大型化も目前となりました。より一層の発展と

います。
さて、上武道路の全面開通

町。今後ますます魅力が増し、より多くの皆さまが定住していただけるよう努めてまいります。

人口は伸び続け、伸び率は県内で9年連続第一位の吉岡町。今後ますます魅力が増し、より多くの皆さまが定住していただけるよう努めてまいります。

あけましておめでとうございませう。町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。



念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

の皆さまにとつて素晴らしい年になりますよう、心から祈

の将来に夢が広がるよう期待

大樹小学校を訪問し、お互いの町や学校について手作りの資料を基に発表し合い、それぞれの特性について学んで交流を深めました。子どもたちの

の子どもも交流事業において、30人の小学生が北海道の大自然を体感しながら学習してきました。初めての試みとして、

の建設が予定されており、平成29年春に竣工予定です。

災公園整備事業、相馬原演習場周辺水道助成事業、明治小学校特別教室棟新築工事を進めています。
そして、インフラ整備とともに子育て支援の施策も重点的に充実させます。
これまでの中学生までの医療費無料化や給食費の補助並びに給食費の保護者負担および国保税の引き下げ、児童館の耐震補強工事に加え、児童数増加による対応として、駒寄地区での新たな学童保育所の建設が予定されており、平成29年春に竣工予定です。

吉岡町議会議長

岸 祐 次

「明るい未来を
目指して」

あけましておめでとうございませう。

町民の皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、4月の統一地方選挙により町民の負託を受け、新たな体制で議会運営に取り組んでいるところであります。

町民各位のご理解とご協力に感謝申し上げます。

議会では、開かれた議会を目指しています。議会だよりの発行や昨年の9月議会から、インターネットによる本会議の中継と録画配信を実現することができま



した。

また、町では、地方創生総合戦略の策定のため、まち・ひと・しごと創生推進会議を開催しております。

議会でも、その重要性を認識し、地方創生対策特別委員会を設置し、この大きな課題に取り組みを始めました。

まちは、人口が増加しておりますが、これからの課題は、少子高齢化に伴う町の将来をどう決めていくかでありませう。

議会としても「まちの進むべき方向と将来」について執行機関と一定の距離を保ちながら、さまざまな提言を積極的にしてまいりたいと思っております。吉岡町のさらなる明るい未来を目指して議員一同最大限の努力をしてまいります。

結びに、本年が町民2万有余の皆さまにとつて、輝かしい年でありますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。